平成西山クラブ

本市では幼児から高齢者まで、障がいの有無に関わらず誰もが安心して利用できる「インクルーシブ公園づくり」を進めるための整備指針を令和五年二月に策定し、この指針に基づき、西山公園、長岡公園、粟生畑ケ田公園の整備に取り組んでいます。その内容はこれら3公園で様々な特長を備えており、車いすでも利用しやすい水のみ場や手洗い、屋根のある休憩施設、高齢者の健康づくり遊具や、障がいの有無に関わらず遊べる複合遊具、3連ブランコや、四季が感じ取れる芝生広場や花壇などで、本年十一月に、隣接する「健幸すぽっと」と同時に供用開始される粟生畑ケ田公園をはじめ、順次供用開始予定です。市民にとって心待ちな公園ですが、整備にあたり公園の規模、トイレや駐車場の有無など、各地域の課題を聞き、みんなが楽しめるインクルーシブ公園づくりに取り組んでいただくよう要望しました。　上村真造・白石多津子

平成自民クラブ

6月議会では65歳以上の高齢者等新型コロナワクチン予防接種事業の一般会計補正予算案等9議案に賛成し可決しました。

第40回記念「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」について歩みを確認し、今後の運営を質しました。市長より、本市が小学生バドミントンの聖地で、若葉カップが全国小学生の甲子園としてさらに飛躍できるよう取り組むとの答弁を得ました。

本市農業政策について資材や人件費高騰の中、農産物価格形成について質し、今年度学校給食用の農産物の品質維持と安定的な納品のため価格を引き上げたとの答弁を得ました。その他、学校教育デジタル化を質し、リアルとデジタルの最適な組み合わせで価値創造的な学びの推進を行うとの答弁を得ました。

今後、都市基盤整備に係る働きかけを進め、市民が安心して安全で豊かになる暮らしの実現のため取り組んで参ります。　八木浩・中小路貴司

会派の意見　文責は各会派にあります。

平成同志クラブ

「通学路の交通安全に関して」かねてから問題となっている長法寺小学校前の交差点について、東側に歩行者溜りがないため信号待ちの児童が交差点付近に溢れ危険な状態になっていることから、歩道を構築した安全対策と、また馬場橋については多くの人と車が混雑する大変危険な状態であるため、歩道を設置し、人と車を分離することで安全を確保していただくよう、本年3月に我が平成会派より京都府に要望書を提出していたところ、長法寺小学校前交差点については、京都府において府道拡幅にかかる設計を実施されており、本市も交差する市道の設計に今年度より着手すること、また、馬場橋についても必要な予算措置をされ、今年度より必要な対策を執って頂けることを確認しました。加えて、「通学路交通安全プログラム」に位置付ける必要があることを指摘し、さらなる安全対策の確保を要望しました。　田村直義・三木常照

長岡京未来の会

当初予算の万博関連予算500万円の内訳は、4月に実施したライトアップ等の委託料100万円、小中学校の事前学習経費90万円、消耗品費310万円とのことでした。

ライトアップは、26自治体中11自治体、府内で半分に満たない参加率しかなく、小中学校の事前学習400万円も本当に必要な経費であるのか、検討する必要があると要望しました。

そして現在、令和2年から令和11年までの上下水道ビジョンの前期検証及び後期見直しをする審議会が行われています。この審議会では、今後の事業運営に関する方向性が判断され、ひいては現在の上下水道料金についての検証などが行われます。

今後も天然ガスの価格は、上昇していく事が予想されています。電気料金が上がり、動力費の更なる増加が考えられるため、今後の事業運営について、慎重な判断が必要です。　小谷宗太郎・川口良江

長岡京黎明の会

令和六年第二回議会（六月）定例会では、一般会計及び国民健康保険事業特別会計の補正予算のほか、長岡第四小学校再整備工事請負契約の変更（第四回）についてや、空き家等対策の推進に関する条例・都市計画税条例・市税条例等の一部改正についての議案が提出され、全ての議案に賛成いたしました。

一般質問では『地域子育て支援』に関して、「子どもの居場所・交流の充実」における現状の取組と課題や、本市の今後の展望について質問いたしました。

議会改革特別委員会では、今後「オンライン委員会」や「休日議会」について協議を進めて参ります。

議員政策研究会のテーマが『乳幼児における健康』『阪急長岡天神駅周辺整備に関して』に決定し、今後分科会ごとに、調査・研究いたします。

これからも、より良い長岡京市を目指し精進いたします。

冨岡浩史・中村亮太

日本共産党

学校給食無償化を求める署名1万289筆が市長に提出

一般質問で署名への受け止めを問いました。市長は「一つの意見として真摯に受け止める。『無償化』という言葉は好きではない。すべて税であり誰かの負担がついて回る」等と述べ、市民の願いに背をむけました。

全国では昨年度3割の自治体が完全無償化を行っています。

万博への子ども派遣に懸念

京都府は全ての児童生徒に万博の入場券を配布します。

しかし会場の夢洲は廃棄物処分場等であり、常に可燃性ガスが発生し3月には爆発事故も起こりました。夢洲への入口は橋とトンネルの2か所だけで、災害時の避難も困難です。熱中症の危険等も指摘されています。

このような場所で開催するのは、後にカジノを含む開発を計画しているからです。安全上の問題が未解決であり、学校行事としての子どもの派遣は見送るよう申し入れました。（住）

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。
ここでは６月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

輝（かがやき）

令和6年6月定例会では市税に関する条例や都市計画税に関する条例、空き家対策に関する条例などの一部改正案、長岡第四小学校再整備工事請負契約の変更、1億6194万6千円を追加する一般会計補正予算案に会派輝は賛成しました。

また、今議会の一般質問では5人全員が登壇しました。登壇順に冨田議員は「自治会の活性化」を含む3項目、大伴議員は「地域公共交通について」を含む4項目、進藤議員は「人事施策について」を含む3項目、宮小路議員は「校区割りについて」を含む2項目、干場議員は「認知症施策」を含む2項目について、それぞれが市民の意見を施策に反映させるべく、一般質問を行いました。

引き続き会派輝は市の課題と真摯に向き合い、輝ける長岡京市を次世代へと繋ぐために邁進してまいります。

冨田達也・進藤裕之・大伴塁
宮小路康文・干場志都恵

公明党

令和6年第2回定例会において、一般会計補正予算案を含む専決処分報告及び議案に対し、熟読精査した結果、承認及び原案可決と致しました。

一般質問では「同報系防災行政無線整備に関して」「気象防災アドバイザーに関して」「新型コロナ感染症に関して」「長岡京市上下水道ビジョンの中間見直し」「成長期の子ども達の健康を守る学校健診」について5つのテーマで質問しました。

意見書として「聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める」「災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める」2案を提出し全会一致で可決されました。

公明党は、介護・福祉・子育て・地域の安全・災害時対応の強化など、市民生活に直結する課題を議会で取り上げながら、市民生活向上に努めております。

今後も、市民に寄り添い小さな声に耳を傾け、安全で暮らしやすい長岡京市を目指します。